

2019年10月3日

株式会社三菱UFJ銀行

阪神高速道路株式会社が発行するソーシャルボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけかねつぐ} 三毛 兼承、以下 当行）は、本日、阪神高速道路株式会社（以下 同社）が発行するソーシャルボンド（阪神高速道路株式会社第21回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）、以下 本債券）への投資を決定いたしました。

ソーシャルボンドは、社会的課題の解決に資する事業（ソーシャルプロジェクト）の資金を調達することを目的として発行される債券で、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の対象となります。

高速道路事業は、持続可能な開発目標（SDGs）^[1]にて掲げられた、「目標3：すべての人に健康と福祉を」、「目標8：働きがいも経済成長も」、「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」等の達成にも貢献する事業です。本債券発行により調達された資金は、同社が担う高速道路事業に充当され、交通安全確保、災害発生時の機能維持、渋滞対策、インフラの老朽化対策等の社会貢献活動に活用される予定です。なお、本債券は、格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（International Capital Market Association／ICMA）が定義するソーシャルボンド原則に適合していると認められております。

当行は、本債券への投資を通じ、高速道路事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家として、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	阪神高速道路株式会社第21回社債 （一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）
年限	1年
発行額	550億円
発行日	2019年10月9日

^[1] 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットから構成されています。

以 上